

教育目標	「しんじる つながる みちをひらく 新・鶴・見！」					
	①興味をもって、自ら進んで学習に取り組む力を育てます。(知) ②自ら判断する力と、人を思いやる心を育てます。(徳) ③自ら運動に親しみ、すこやかな心と体を育てます。(体) ④人とのつながりを大切に、地域を愛する心を育てます。(公) ⑤多様な考えを認め、共に生きていく力を育てます。(開)					
学校概要	創立 27 周年	学校長 佐藤 朗子	副校長 石井 淳慈	2 学期制	一般学級: 28	個別支援学級: 7
	児童生徒数: 923 人		主な関係校: 矢向中学校 矢向小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	矢向中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
		輝く未来を切り拓く、たくましい子 (1)児童・生徒指導についての情報交換および研修会等 (2)小中学校での合同行事の実施等による児童生徒の交流活動の促進 (3)教科・領域での小中合同研究協議 (4)学習指導要領に沿う小中一貫カリキュラムに向けての教育実践
<自分づくりに関する力>		

中期取組目標	○教育目標の実現に向けて、自分を信じ、仲間と地域とつながり、未知なる道を自分たちの力で切り拓く子どもの育成を目指します。 ・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの思いや考えを大切にしながら授業を進めます。 ・誰もが安心して楽しく学校生活が送れるよう、一人ひとりを見取り寄り添います。 ・地域の人たちとのつながりを意識し、豊かな体験を通して地域を愛する心を育てます。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①基礎・基本が身に付くように、既習を活用した授業づくりやスキルタイムを実施するとともに、習熟度に応じた支援を行う。 ②重点研究テーマを「自分の思いや考えを進んで伝え、考え合い、共に高め合おうとする子どもの育成」とし、生活科・総合的な学習の時間を中心に、人と豊かに関わる力を育成する。
担当	教育課程・評価部 重点推進	
徳	道徳教育	①豊かな心の育成を目指して、道徳科を中心に各教科の学習において、自他を思いやる心を育てていくようにする。 ②全学級の道徳科授業公開を年一回以上行い、心の教育の実践について保護者に啓発していく。
担当	道徳部	
体	健康教育 食育	①体育部を中心に作成したカリキュラムを参考にし、学年間での連携を図りながら、授業に取り組んでいく。 ②規則正しい生活を送ろうとする姿勢を培うとともに、養護教諭と担任が連携しながら、保健学習の充実を図ったり、栄養教諭と担任が連携して食育教育を実施し、食に対する意識をさらに高めたりする。
担当	体育・食育部	
公開	地域学校 協働活動	①しんつるサポーターズ(地域学校協働本部)、スクールパートナーと連携し、計画的に保護者・地域人材を活用し、教育活動の充実を図る。年度初めに一括してボランティア登録をする仕組みをつくる。 ②学校運営協議会に様々な立場の教職員が出席し、学校の現状について意見交換するとともに、委員が授業や行事を参観する機会を設け、地域と共に歩む学校運営を目指す。
担当	教育活動部	
いじめへの対応		①いじめの未然防止のために、児童に関する組織的な情報共有やいじめアンケート等の取組を実施する。YPの効果的な活用について学び、実践につなげていく。 ②いじめやいじめにつながる案件について、基本方針に則り、迅速かつ丁寧に組織的な対応を行っていく。
担当	指導部	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①定期的に主任・主幹会を設定し、校内の課題を持ち寄り解決方法を見出しながら、学校運営の改善や働き方改革につなげていく。 ②メンターチーム研修の自発的な取組を学校全体で支え、学習指導・児童支援の実践力向上を目指していく。
担当	主任・主幹会 メンター研	
特別支援教育		①児童支援専任・特別支援コーディネーターを中心に組織的・計画的・継続的に支援していく。関係機関とも密に連携をとるとともに、支援の中長期的な見直しも図っていく。 ②個別支援の必要な児童の理解と、支援や交流学習の在り方について、教職員が共通認識をもって研修する。ユニバーサルデザインの視点を含め、授業づくりや支援の在り方について学ぶ。
担当	指導部	
人権教育		①学級や学年、異学年集団において交流のしかたを工夫し、行事や活動を通じて子どもが人とのつながりを感じ、互いに認め合える集団作りを目指す。 ②人権週間にはSDGsを用いていくつかのテーマを共有し、視野を広げるとともに、人とのつながりの中から子ども同士が認め合い、自分も他の人も大切にできる取組を学級で行う。
担当	安心・安全部	